

算数チャレンジ大会2026

予選問題（個人）

じっし
実施時間 40分

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- 2 問題は **7** まであります。と 解けそうな問題からどんどん進めましょう。
- 3 答えは^{すべ}全て^{かいとう}解答用紙に書きましょう。
- 4 解答用紙に、学校名、チーム名、自分の名前を書きましょう。
- 5 解答は黒えん筆（^こ濃く書けるもの）を使い、はっきり書きましょう。
消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 6 計算やメモなどは、^{べつ}別に^{はいふ}配布している計算用紙を使ってかまいません。



宮城県教育委員会



「算数チャレンジ大会 2026」予選問題

1 次の 1、2 の問いに答えなさい。(各 5 点)

1 次の計算をしなさい。

① $1000 - 994 + 6$

② $80 + 20 \times 6$

③ $17.4 \div 0.3$

④ $(357 + 656) \times 2$

2 給食の時間に、食^{しょっかん}缶に入っているスープをクラスみんなに分けます。食缶にはスープが $\frac{28}{3}$ L 入っています。このスープを、1 人に $\frac{3}{10}$ L ずつ分けるとき、次の①、②の問いに答えなさい。

① スープは最大で何人^{さいだい}に分けることができますか。



② スープを最大まで分けたとき、食缶^{のこ}に残るスープは何 L ですか。

「算数チャレンジ大会 2026」予選問題

2 青葉小学校 6 年 1 組の人数は 35 人です。このクラスで、校外学習の参加申し込みを集めたところ、昨日までに申し込みをした人数は、クラス全体の $\frac{1}{7}$ でした。今日さらに、昨日までに申し込んだ人数の 0.4 倍にあたる人数が、追加で申し込みをしました。

このとき、校外学習の申し込みを、昨日までに済ませた人数と、今日済ませた人数の合計を求めなさい。(10 点)

「算数チャレンジ大会2026」予選問題

3 ある日の放課後、あおいさん、いつきさん、うたさん、えりさん、おとはさんの5人が、グラウンドで100m競走をしました。

全員走ることに夢中で、ゴールしたあとに誰が何位だったか分からなくなってしまいました。そこで5人が順位について次のように話をしています。

えり：全員全力で走ったから、誰が何位だったか分からなくなっちゃった。
同じ順位の人はいないはずだけど…。

あおい：私は、うたさんのすぐあとにゴールしたよ。

いつき：私は、4位ではなかったよ。

うた：私も、4位ではなかったよ。あおいさんが、すぐ後ろにいたのは分かったけど。

えり：私は、いつきさんより早くゴールしたよ。

おとは：そうなの？ 私はいつきさんよりあとにゴールしたよ。いつきさん、速かったね。

このとき、5人の順位を、

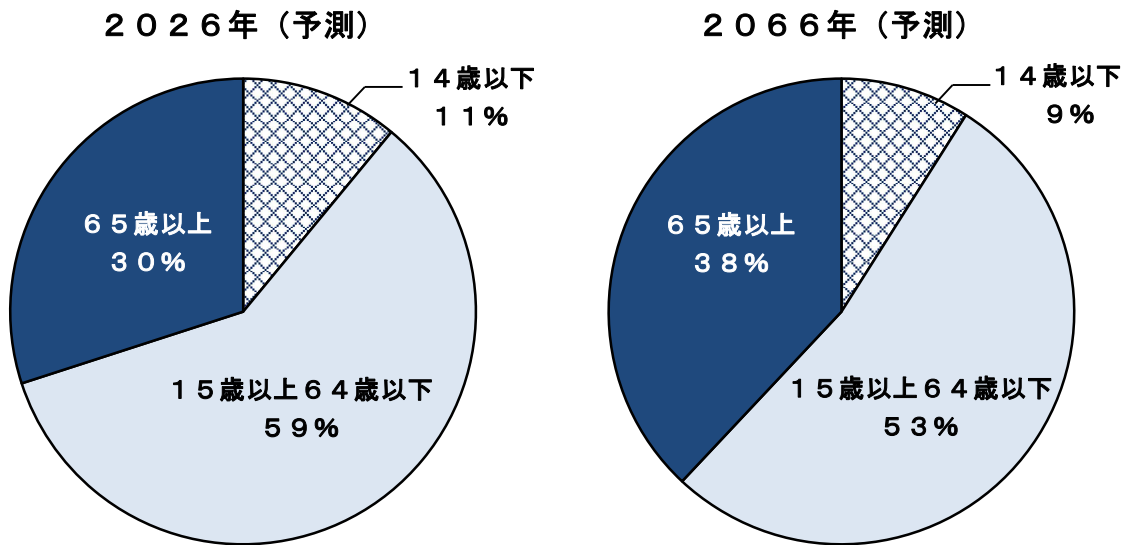
ア：あおい イ：いつき ウ：うた エ：えり オ：おとは

として、1位から5位まで順番に、ア～オで答えなさい。（10点）

「算数チャレンジ大会2026」予選問題

- 4 こういちさんたちのクラスでは、社会の授業でタブレット端末を使い、日本の人口の変化について調べています。下の2つの円グラフは、2026年の年齢別の人口の割合と、2066年の年齢別の人口の割合の予測を比べてまとめたものです。

2026年の日本の総人口の予測を約1億2200万人、2066年の総人口の予測を約9100万人としたとき、次の1～3の問いに答えなさい。(各5点)

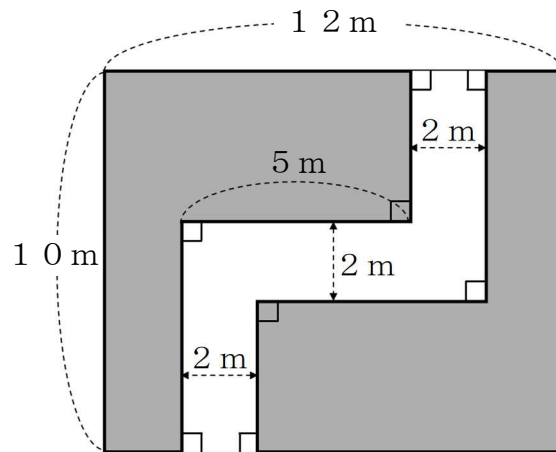


(国立社会保障・人口問題研究所の推計データを参考に作成)

- 2026年の日本の総人口の予測について、15歳以上64歳以下の割合は、14歳以下の割合の何倍ですか。答えは四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で求めなさい。
- 2066年の15歳以上64歳以下の予測人数は、何万人ですか。
- 2066年の65歳以上の予測人数は、2026年の65歳以上の予測人数の何倍になりますか。答えは四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までのがい数で求めなさい。

「算数チャレンジ大会 2026」予選問題

- 5 ^{たて}縦が 10 m、横が 12 m の長方形の土地に、下の図のように同じはばで 2 m の通路をつくり、色のついた残りの部分を花だんにします。この花だんの面積を ^{のこ}求めなさい。(10 点)

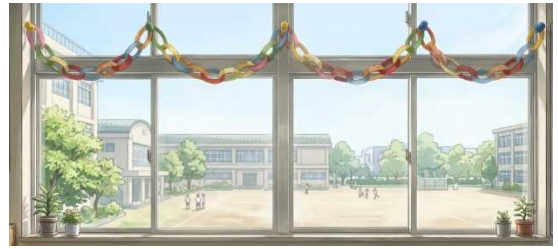


「算数チャレンジ大会2026」予選問題

- 6 みらいさんとかけるさんは、七夕集会のかざり付けの係になり、折り紙の輪をつないでいく「輪つなぎ」を作り、教室の窓枠に沿ってかざり付けることにしました。目標の長さまで完成させるのに、みらいさん1人だと20分、かけるさん1人だと30分かかります。ただし、みらいさんもかけるさんも、それぞれ1分間に作ることができる「輪つなぎ」の長さは、変わらないものとします。

このとき、次の1、2の問いに答えなさい。（各5点）

- 1 この「輪つなぎ」を、みらいさんとかけるさんが2人でいっしょに作ると、完成までに何分かかりますか。

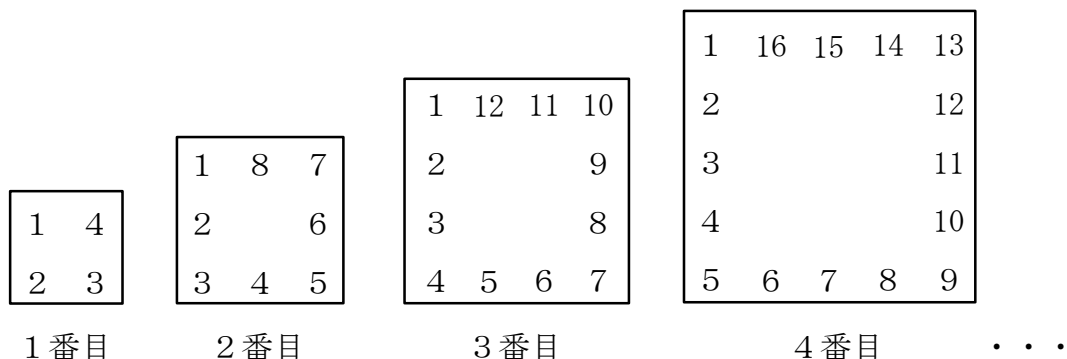


- 2 この「輪つなぎ」を、最初はみらいさん1人だけで8分間作りました。残りの部分をかけるさん1人だけで作って完成させるには、かけるさんはあと何分作ればよいですか。

「算数チャレンジ大会2026」予選問題

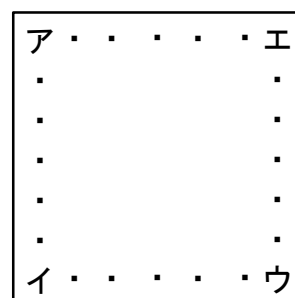
7 下の図のように、正方形の^{へん}そ^そに^{じゅん}順に整数を書き入れます。

このとき、次の1～3の問いに答えなさい。(各5点)



1 8 番目の正方形の中で、もっとも大きい整数を求めなさい。

2 26 番目の正方形について、4つの頂点^{ちやうてん}ア～エの位置にある整数をそれぞれ求めなさい。



26 番目

3 4つの頂点の位置にある整数の和が「2026」となるのは、何番目の正方形か求めなさい。

算数チャレンジ大会2026

予選問題（チーム）

じっし
実施時間 10分

注 意

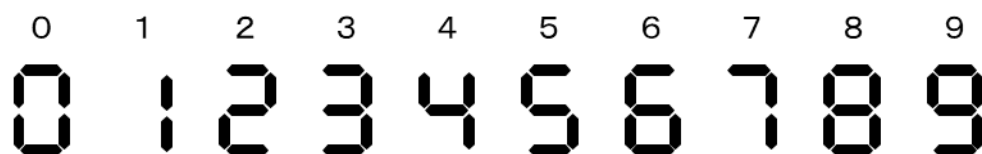
- 1 「始め」の合図があったら、問題用紙（3名分）と解答用紙（1枚）を取り出し、始めてください。
- 2 メンバーと相談しながら解きましょう。なお、まわりのチームの迷惑にならないよう、声の大きさに気をつけましょう。
- 3 答えは全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答用紙に、学校名、チーム名を書きましょう。
- 5 解答は黒えん筆（濃く書けるもの）を使い、はっきり書きましょう。消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
- 6 計算やメモなどは、別に配布している計算用紙を使ってかまいません。



宮城県教育委員会



チーム問題 0～9の数字を次のように表します。



のようなカードに、真ん中の棒^{ぼう} の部分のをぞいた、上半分の部分を
書き入れて計算式を作ります。

例えば、 $7 + 9 = 16$ は  +  =   となります。

計算式が次のようになるとき、**ア～ウ**のカードに当てはまる数字を求めなさい。
(10点)

$$\begin{array}{c} \text{ア} \\ \boxed{\text{8}} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{イ} \\ \boxed{\text{8}} \end{array} - \begin{array}{c} \text{ウ} \\ \boxed{\text{8}} \end{array} = \boxed{\text{8}} \boxed{\text{8}}$$